

令和4年度 事故報告内容

	事例	年齢	要介護度	事故の概要	事故発生場所	原因及び内容	事故発生時の対応	事故再発防止の取組
特養 入所者	事例1	85歳	要介護3	たん瘤	居室	昨日はたん瘤はなかったため、昨夜から朝にかけてトイレ又は何処かに行こうとした際にバランスを崩したものと考えられる。	病院受診	マット付きセンサーを敷き、センサー反応があった際には職員が駆け付けるようにする。
	事例2	93歳	要介護3	打撲、捻挫等	グループエリア	左足首からつま先にかけて内出血及び熱感がみられ、下肢筋力低下でソファに当たったまたは歩行時に足をねじた可能性がある。	病院受診	本人の動作を見て打撲などの危険を検討し対応する。 歩行時には、利用者のペースに合わせて介助を行う。
特養 短期入所								
GH 入居者								
町外の 施設入所者	事例1	95歳	要介護3	右大腿頸部骨折	居室	正確な事故原因は不明だが、元々自分で動かれる方で、事故当時車いすにブレーキがかかっていなかったため、ベットから起き上がろうとした際に、車いすが動いた又はフットレストに足が引っ掛かり転倒した可能性がある。	病院受診	夜間、居室に誘導した際は、車いすのブレーキを上げ、ベットの横になるまで確認する。 また、退院時のご本人の状態に合わせて対応策を考える。